## メッセージ部門

優秀賞

ペンネーム
スイカちゃんさん
（近江八幡市）

# 「一緒に治しましょう」

肌が弱い息子。とびひや水イボ、あせもと見た目にも醜くなる事が多々ありました。弱い子供を扱う大人は神経質になるものです。地域のイベントはもちろん、お友達と会う事もはばかれました。当然、保育園という集団生活する場でも嫌な顔をされると思っていました。ところが、先生が一言目に言った事は「一緒に治しましょう」でした。プールに入れない時は、シャワーや身体を拭き、別の遊びをしてくださいました。通院の結果を常に気にして頂き、自宅に居る時と同様の措置を行ってくれました。かなりの手間だったと思います。少しずつよくなると、一緒に喜んでくれました。おかげで肌の状態は徐々に良くなり、もう他の子に遠慮する事もなくなりました。弱点のある子を排除するのではなく受け入れ、親と同じように最善を尽くして頂き、本当に心強かったです。ありがとうございました。

## 楽しかった“あそび”部門

優秀賞

西村　さつきさん
（大津市）

卒園の記念に子どもたち一人ひとりが自分の夢を書き20歳の自分へ手紙として残しました。その夢を応援してくれている先生の愛のメッセージ。きっと子どもたちが大きくなった時に励まされるメッセージだと思います。

## メッセージ部門

優秀賞

ペンネーム
りゅうせいママさん
（大津市）

# 「ジャージの天使」

「抱っこしてないと目が覚めるので、日中はずっと抱っこしてます。」入園前面談で切々と先生に訴えた。育休中は、とにかく昼寝が苦手な息子を、抱っこひもで日がな体にくくりつけ、自分の昼食は息子の頭上で食べ、トイレの中まで連れていった。

登園初日、片付けもどかしく職場を飛び出すと「少し泣けてくることもあったけど、よく寝てよく食べてご機嫌に過ごした」との報告。なんと、布団でたっぷり寝たという。心底目を丸くする私に先生は「息子ちゃんは縦揺れが好きだから縦にゆらゆらですよ。○○ちゃんは横揺れ派。テンポもギュッの強さもお子さんによっていーろいろ。」それぞれの子どもの好みをバッチリ把握されていたのである。取扱説明書がない世界で、子どもの一番心地よい空間を探り当て、創り出す先生。保育所は、無機質で芋洗いのような施設ではないかという不安がすうっと消えて行った。

延長保育ギリギリの時間に駆け込み、小言を言われやしないかと身構える私に「お母さんにお疲れが出ませんように」と微笑み、息子の一番気に入りの力加減で抱っこする先生は、白衣ならぬジャージの天使。いつの間にかおしゃべりを始めた息子が嬉しげに「しぇんしぇーバイバーイ」と挨拶するのに目を細めながら、ジャージの天使と二人三脚で、この子の未来をつくっていけることは、とっても楽しみだなぁ、としみじみ思う。先生、いつもありがとう。

## 楽しかった“あそび”部門

優秀賞

萬木　磨知子さん
（高島市）

この絵を先生に誉められて、ますます絵が好きになりました。先生ありがとう。

## メッセージ部門

入賞

朴　玉南さん（大津市）

# 「先生は我が家の宝」

息子が体調を崩し、園まで迎えに行った時の事です。ちょうどおやつの時間帯だったでしょうか。給食の先生が「セヒョンくん帰るの？大根もち食べていったらいいのに」と声をかけてくださいました。手に持っていたのは湯せんで温められていたおやつの大根もち。「セヒョンくんアレルギーあるから先に作らないといけないの。でも冷たくなるとおいしくないでしょう」とおっしゃいました。私の息子は生まれて数ヶ月後に食物アレルギーと診断され、今でも小麦と卵を除去した食生活を送っています。その言葉を聞いて、嬉しさのあまり帰りの車の中で大粒の涙を流したことを今でも鮮明に憶えています。給食の先生のみならず、そんな息子の命を守るため、いつも傍で食事を共にしてくださった保育士さん。息子の心と身体の成長は、決して親だけでは育てられなかったと思います。いつもとなりで笑って、泣いて、叱ってくれた保育士さんや給食の先生は我が家の宝です。ありがとう。

## 楽しかった“あそび”部門

入賞

辻本　恭朗さん（大津市）

娘が年中さんの時は忍者一色でした。園の生活に忍者修行を取り入れて『がんばること』『がんばったらできること』『できたときの喜び』など学んでくれたと思います。写真は忍者認定書と忍者からのお手紙～本物です（笑）娘の宝物です。

## メッセージ部門

入賞

### 谷垣　有紀さん（湖南市）

### 「夢を与えてくれてありがとう」

私が保育園に通っていた頃、毎日両親の迎えが遅かった私の側で、優しく見守ってくださる先生がいました。先生のおかげで両親が迎えに来るまで寂しい気持ちにならずにとても安心できました。いつも温かく見守って下さりありがとうございました。ケガをした時もすぐにかけつけてくれて、とても心配そうに声をかけたり、手当をして下さったおかげで今はとても元気に学生生活を送る事ができています。中学生の時の職場体験で何年ぶりかに先生に再会し、覚えて下さって声をかけてもらった時にはとても嬉しかったです。その時に先生にいろいろ話を聞かせていただいたり、手紙を交換したりして、当時の先生のままだと感じました。そんな先生の姿を見て、私も優しく子どもに寄り添うことのできる保育者になりたいと思い、今は短大で保育士を目指して頑張っています。そんな今の私の夢をあたえてくれた先生に感謝しています。ありがとうございました。

## 楽しかった“あそび”部門

入賞

### ペンネーム　ミルクさん（大津市）

友達とチューリップ屋さんがしたくて、先生にチューリップの折り方を教えてもらいました。なかなか覚えられなくて何度も教えてもらった記憶があります。卒園のときに、泣きながら抱きしめてくれた事が一番鮮明に覚えています。